

2026年度
別府大学短期大学部入学試験問題
B 日程

国語総合（現代文）

注 意 事 項

- 1 試験時間は国語総合（現代文）と英語（Ⅰ・Ⅱ）合わせて110分です。
- 2 この問題冊子は国語総合（現代文）（1～11ページ）です。
- 3 試験の開始と終了については、監督者の指示に従いなさい。
- 4 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てもいいけません。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、手を挙げなさい。
なお、6ページと7ページは横書きで、見開きになっています。7ページから先に読みなさい。
- 6 解答用紙は切り離し、解答はすべて解答欄に書きなさい。
問題冊子の余白などは適宜利用してよいが、ページを切り離してはいけません。
- 7 終了の合図があったら、解答用紙は表を上にしたまま通路側に置きなさい。
なお、国語の解答用紙を上、英語の解答用紙を下に置きなさい。
- 8 指示があるまで、席を立ってはいけません。
- 9 問題冊子は、持ち帰ってはいけません。

受 験 番 号

【一】 次の二つの文章 **A** と **B** を読んで、後の問いに答えなさい。

A

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

（岡田美智男「弱いロボット」の思考 わたし・身体・コミュニケーション」より
なお、設問の都合で、一部、表記を改めている。）

B

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(総務省コラム「AIやロボットと協働・共生する未来に向けて(コンヴィヴィアルな関係)より」
なお、設問の都合で、一部、表記を改めている。)

問一 〜〜線ア〜エについて、カタカナの部分に漢字に書きなおし、漢字の部分の読みをひらがなで書きなさい。

問二 次の(1)から(3)の問いに答えなさい。

(1) 線a「風」と同じ意味で使われている「風」を次のア〜オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 風向 イ 風俗 ウ 風体 エ 風評 オ 風刺

(2) 線b「あっけらかんと」の品詞名を漢字で書きなさい。

(3) 線c「遭遇」と同じ構成の熟語を次のア〜オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 意志 イ 巧拙 ウ 懸命 エ 地震 オ 感涙

問三 線①に込められている筆者の気持ちとして、最も適当なものを次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 便利なロボットを目指しているはずなのに、期待を裏切っているロボットを、非難する気持ち。

イ いつも人の手を借りなければ目的を果たせない欠陥ロボットを、見下し、軽蔑する気持ち。

ウ 人の手助けを当然のように求めているはずのロボットを、いまいまいしく思う気持ち。

エ 欠陥を顧みず、任務を果たそうと悪戦苦闘する鈍くさいロボットを、呆れながら失笑する気持ち。

問四 線②とは、人間とどのような関係を結ぶロボットか。文章中の語句を用いて、「〳〵関係を結ぶロボット」という言葉に繋がるように、三十字以上三十五字以内で説明しなさい。(記号や句読点を含む。)

線③について、「連携プレー」が可能となるポイントとは、どのようなことか。二点に分けて、それぞれ二十字程度で、箇条書きで答えなさい。(記号や句読点を含む。)

問五 線④について、次の(1) (2)の問いに答えなさい。

問六 線④について、次の(1) (2)の問いに答えなさい。

(1) わたしたちの「傲慢さ」とは、どのような形で現れてくるか、文章中から十七字で抜き出しなさい。

(2) 「傲慢さ」が引き出される理由として最も適当なものを、次のア〜エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 高機能なロボットに対しては、人間は〈強み〉を発揮できる場面を失ってしまう。その喪失感が積み重なると、人間は、開き直り、「やってくれて当たり前だ」と考える厄介な使用者になってしまうから。

イ 高機能なロボットは価格が高いため、使用者は価格に見合う高度なサービスを求めしまう。そして、自分が求めるサービスを受けられない場合、期待を裏切られたと考えるようになってしまうから。

ウ 高機能なロボットには人間が手を出す隙がなく、相互的関係を結ぶことができない。そこで、人間は一方的な使用者となり、ロボットを単なる目的を果たすための道具にすぎないと考えようになるから。

エ 高機能なロボットであっても、使用者としての人間とはそもそも主従関係であると考えている。そこで、ロボットに対して、自分の願いを何としても叶えさせたいという気持ちが生まれてくるから。

問七 ——— 線⑤について、なぜそのようなことが言えるのか、**㊦**の文章を参考にして、「至れり尽くせりの講義では」に続く形で、理由を書きなさい。

問八 ——— 線⑥について、その説明に当たる部分を四十五字で抜き出し、初めと終わりの五字をそれぞれ書きなさい。（句読点を含む。）

問九 ——— 線⑦について、なぜ「肝要」なのか。その理由として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア 第一と第二の分水嶺のあいだでは、人間は能動的に動く必要があるのでテクノロジーに隷属しない幸せな状態であるが、第二分水嶺を超えてしまうと、人間とテクノロジーとがお互いにゆるやかに依存しあう状態になるから。

イ 第一と第二の分水嶺のあいだでは、人間はテクノロジーを使いこなして自由度が高まる幸せな状態であるが、テクノロジーの機能が高まり、第二分水嶺を超えてしまうと、人間はテクノロジーに隷属し、主体性を失う状態になるから。

ウ 第一と第二の分水嶺のあいだでは、人間とテクノロジーは共棲を楽しむことができるが、第二分水嶺を超えてしまうと機能追加が次々と行われるようになり、人間とテクノロジーとの間で消耗戦が繰り広げられる状態になるから。

エ 第一と第二の分水嶺のあいだでは、価格が安価で、多くの人がテクノロジーの恩恵を受けられる幸せな状態であるが、第二分水嶺を超えてしまうと、機能に伴い価格が高騰し、恩恵を受けられる人が減少する状態になるから。

問十 弘さんと花江さんは、**A**と**B**の二つの文章を読んで、次のように感想を出し合っています。後の(1)(2)に答えなさい。

弘さん 洗濯機を買い替える予定の母に「なし崩しの機能追加主義」の話をしたところ、「家事負担が軽くなるなら、どんどん便利な機能を追加してほしいわ」と言われました。僕は、「なし崩しの機能追加」には批判的な立場なのだけど、花江さんは、どのように考えますか。

花江さん

I

そのことよりも、私は、**A**の文章を読んで、人間同士のコミュニケーションについて、考えさせられました。私は、いろいろな意味で自立したいと思っているのですが、「一人できるもん」ということだけを目指すのは、違うのかもしれないという気持ちになりました。弘さんは、どのように考えますか。

弘さん

僕は、筆者の考え方に共感するところが多いのです。人間同士のコミュニケーションにおいても、

II

(1) I には、弘さんの質問に対する花江さんの意見が入ります。花江さんと同じように、あなたが弘さんから意見を求められた場合、どのように答えますか。あなたの意見を、主張を先に述べ、その理由を六十字以内で書きなさい。(記号や句読点を含む。)

(2) 花江さんの質問に対して II で弘さんはどのように答えたと考えられますか。次の条件を踏まえて書きなさい。

【条件】①文章 A の中の言葉を用いて、敬体で、百字以上百二十字以内で書きなさい。(記号や句読点を含む。)

②前半には弘さんが筆者に共感していることを踏まえて結論を書き、後半にはそのように考えた理由を自分なりに考えて書きなさい。なお、段落を分ける必要はありません。

③「人間同士のコミュニケーションにおいても」に続く形で書き出しなさい。